

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2004年9月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主にインドの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の米ドル建て投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みませぬ。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（9月30日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インド株式オープン

第19期（決算日 2023年10月2日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税 込		投資信託証券 組入比率	純資産額
		分配金	期中 騰落率		
15期 (2019年9月30日)	円 13,836	円 0	% △ 7.4	% 98.6	百万円 81,654
16期 (2020年9月30日)	13,334	0	△ 3.6	98.0	68,759
17期 (2021年9月30日)	20,282	1,000	59.6	98.6	77,293
18期 (2022年9月30日)	22,086	1,000	13.8	97.1	81,723
19期 (2023年10月2日)	25,032	1,000	17.9	97.2	141,789

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	
		騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2022年9月30日	円 22,086	% —	% 97.1
10月末	23,517	6.5	97.0
11月末	22,951	3.9	97.7
12月末	21,205	△ 4.0	97.8
2023年1月末	20,593	△ 6.8	97.0
2月末	20,795	△ 5.8	97.6
3月末	20,053	△ 9.2	97.8
4月末	21,048	△ 4.7	97.2
5月末	22,436	1.6	97.6
6月末	24,138	9.3	97.2
7月末	24,435	10.6	97.6
8月末	25,122	13.7	97.1
9月末	25,810	16.9	93.1
(期末) 2023年10月2日	26,032	17.9	97.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2022年10月1日～2023年10月2日)



第19期首	22,086円
第19期末	25,032円 (既払分配金1,000円)
騰落率	17.9% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・投資対象ファンドを通じて保有する株式が上昇したこと。

インド株式市場

2022年7－9月期のインド企業の業績が改善を示したことや、主要国の中央銀行が金融政策に対するタカ派姿勢を弱めるとの観測が投資家心理の改善を後押ししたことから、インド株式市場は期初から上昇しました。12月には欧米経済の減速懸念、2023年1月にはインドの財閥アダニ・グループに対する米投資会社による不正会計疑惑の指摘を受け同グループ企業の資金繰り懸念から金融システムへの影響が不安視されたこと、さらに3月には欧米の金融システム不安が高まったことなどを背景に株価は下落基調をたどりました。4月上旬にインド準備銀行（RBI、中央銀行）が政策金利を据え置いたことや、インド国内のインフレがピークアウトを示したこと、2023年1－3月期のインド企業の業績が好調であったことなどが好感され、株価は7月後半にかけて上昇基調で推移しました。8月には米長期金利の上昇を受けて米国株の調整がみられる中、インド株式市場も調整しましたが、その後は好調な経済活動を示唆するマクロ統計の発表などを受けて再び上昇し、通期でも上昇となりました。

為替市場

インドルピーは、期を通じて概ね1米ドル＝81～83ルピーのレンジ内での取引となりました。米国における利上げの行方やインフレ、景気後退懸念など米ドルに対する思惑に左右される展開が続きました。円は期初から日銀のイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の見直しなどを受けて円高米ドル安となりましたが、その後は米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを継続して実施したことなどから日米金利差が拡大し、円安米ドル高が進みました。通期でルピーは円に対して小幅に上昇しました。

国内債券市場

期初から2022年12月半ばにかけては日銀の連続指値オペの実施などから日本国債利回りは狭いレンジで推移し、その後は日銀がそれまで続けてきたイールドカーブ・コントロールの見直しを行ったことなどをを受けて日本国債利回りは上昇（価格は下落）しました。2023年3月半ばに欧米の金融不安を背景に利回りは一時低下しましたが、植田新日銀総裁就任後の日銀の政策修正観測から4月中旬にかけて上昇に転じました。7月末の金融政策決定会合でイールドカーブ・コントロール政策が柔軟化されたことから、利回りはさらに上昇し、通期でも上昇となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インディア・エクイティ・オープン

インド株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

個別銘柄では、インド国内のインフラ関連や中東の鉄道インフラ関連などの新規受注が好調であることが好感され上昇した大手エンジニアリング会社のラーセン&トッブロの保有がプラス要因となりました。一方で、最高経営責任者（CEO）の突然の退任発表が嫌気され下落した家電メーカーのクロンプトン・グリープス・コンシューマー・エレクトリカルの保有はマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第19期	
	2022年10月1日 ～2023年10月2日	
当期分配金	(円)	1,000
（対基準価額比率）	(%)	3.841
当期の収益	(円)	999
当期の収益以外	(円)	0
翌期繰越分配対象額	(円)	15,032

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインド・エクイティ・オープン組入比率を高位に保つことを基本とします。

インド・エクイティ・オープン

インド準備銀行（中央銀行、RBI）による利上げが継続していた中でも、インド経済は底堅い成長が見込まれています。また2024年の総選挙を控えて現政権が財政面で景気を支えるとの期待もインド市場に対する強気な姿勢を裏付ける根拠の一つとなっています。長期的には米中の地政学的な緊張の高まりからインド経済は恩恵を受ける可能性があると考えています。米国や日本、その他の国では製造拠点をインドに移す動きがあり、インド政府が速やかにこれを取り込む施策を打ち出すことでさらに加速する可能性があります。海外か

らの投資がけん引して設備投資が拡大し、インド経済は活性化されると考えます。インドはこれまで他の新興国と比較して、バリュエーションから見て割高な水準にあります。内需の国であるインドは世界的な景気変動の影響が相対的に小さいことや、政策や制度改革への政府の取り組みを市場が評価していることが背景にあります。引き続き、ファンダメンタルズが強固で割安な銘柄に着目しながら、選別投資を行う方針です。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1 万口当たりの費用明細

(2022年10月1日～2023年10月2日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	307円	1.357%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、22,629円です。
(投信会社)	(125)	(0.553)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(175)	(0.774)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.030)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	307	1.359	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

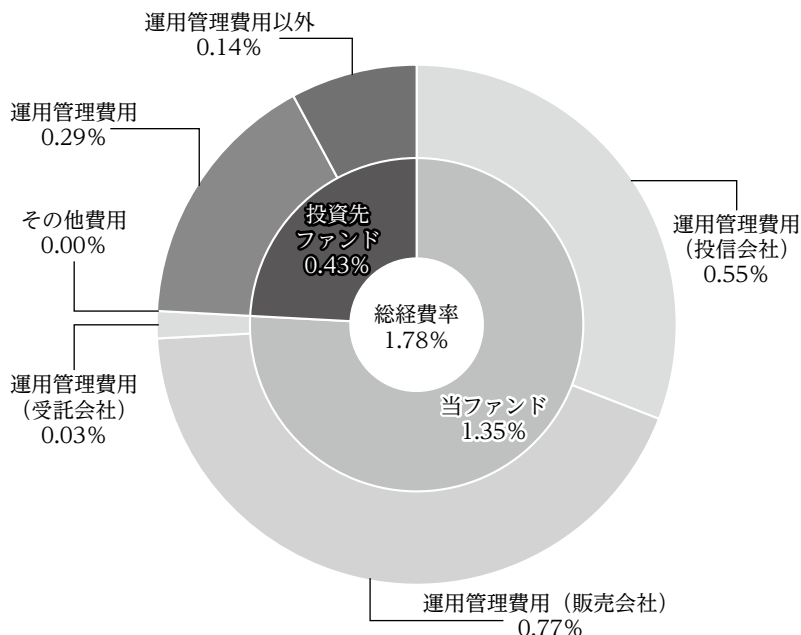
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



総経費率 (①+②+③)	1.78%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2022年10月1日から2023年10月2日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 モーリシャス籍	イーストスプリング・ インベストメンツ・インディア・ エクイティ・オープン・リミテッド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			4,992	264,500	—	—

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2022年10月1日から2023年10月2日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2023年10月2日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	401,177	401,177	423,362	0.3
合 計	401,177	401,177	423,362	0.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千米ドル	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・ インディア・エクイティ・オープン・リミテッド	11,112	16,105	917,518	137,435,041	96.9
合 計	11,112	16,105	917,518	137,435,041	96.9

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2023年10月2日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	423,362	0.3
投 資 証 券	137,435,041	92.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	10,863,428	7.3
投 資 信 託 財 産 総 額	148,721,831	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(139,981,471千円)の投資信託財産総額(148,721,831千円)に対する比率は94.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年10月2日における邦貨換算レートは、1米ドル=149.79円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年10月2日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	148,721,831,443円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,863,427,432
投資信託受益証券(評価額)	423,362,469
投 資 証 券(評価額)	137,435,041,542
(B) 負 債	6,932,634,869
未 払 収 益 分 配 金	5,664,222,331
未 払 解 約 金	485,022,421
未 払 信 託 報 酬	782,499,829
未 払 利 息	25,064
そ の 他 未 払 費 用	865,224
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	141,789,196,574
元 本	56,642,223,315
次 期 繰 越 損 益 金	85,146,973,259
(D) 受 益 権 総 口 数	56,642,223,315口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,032円

(注1) 元本の状況

期首元本額	37,001,623,109円
期中追加設定元本額	25,077,476,038円
期中一部解約元本額	5,436,875,832円

(注2) 1口当たり純資産額は2,5032円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2022年10月1日 至2023年10月2日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 2,775,276円
支 払 利 息	△ 2,775,276
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	20,874,558,923
売 買 益	21,459,673,547
売 買 損	△ 585,114,624
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,375,854,873
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	19,495,928,774
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	21,932,720,536
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	49,382,546,280
(配 当 等 相 当 額)	(49,061,797,699)
(売 買 損 益 相 当 額)	(320,748,581)
(G) 計 (D+E+F)	90,811,195,590
(H) 収 益 分 配 金	△ 5,664,222,331
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	85,146,973,259
追 加 信 託 差 損 益 金	49,382,546,280
(配 当 等 相 当 額)	(49,061,797,699)
(売 買 損 益 相 当 額)	(320,748,581)
分 配 準 備 積 立 金	35,767,202,255
繰 越 損 益 金	△ 2,775,276

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(19,497,119,337円)、信託約款に規定する収益調整金(49,379,771,004円)および分配準備積立金(21,934,305,249円)より、分配対象収益は90,811,195,590円(10,000口当たり16,032円)であり、うち5,664,222,331円(10,000口当たり1,000円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

決 算 期	第 19 期
1 万口当たり分配金（税引前）	1,000円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド		
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型		
表示通貨	米ドル		
運用の基本方針	インドの株式を主な投資対象とし、中長期的なトータル・リターンを最大限の獲得を目指した運用を行います。		
主な投資対象	インドの金融商品取引所に上場されている株式		
ベンチマーク	MSCI India Total Return Net Index (MSCIインド指数 (税引き後配当再投資)) ※1		
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド	
	管理会社	Vistra Alternative Investments (Mauritius) Limited	
手数料等	申込手数料	ありません。	
	運用報酬	(純資産額50万米ドル以下の部分)	年率0.35%
		(純資産額50万米ドル超の部分)	年率0.30%
	管理報酬等	年率0.25% (上限)	
上記には、監査費用、組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が含まれます。			
設立日	2004年9月29日		
決算日	毎年8月31日		

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)		
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募		
表示通貨	日本円		
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。		
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債		
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) ※2		
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社	
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド	
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 		
申込手数料	ありません。		
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)		
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。		
信託設定日	2002年8月26日		
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)		

※1 MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2022年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

純損益及びその他包括利益計算書

2022年8月31日に終了した事業年度

米ドル

収益

受取配当金	8,356,614
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損失）	93,206,777
投資有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）	(113,053,980)
	<u>(11,490,589)</u>

費用

運用報酬	(2,087,393)
保管銀行費用	(515,720)
計算事務費用	(188,762)
管理費用	(155,495)
専門家報酬	(7,193)
監査報酬	(46,391)
税金手数料	(33,287)
取引手数料	(38,560)
銀行手数料	(11,052)
免許登録費用	(5,300)
売買委託手数料	(2,150,700)
外国為替取引に係る純利益（損失）	(2,036,598)
	<u>(7,276,451)</u>

償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額 (18,767,040)

税金 (5,607,547)

償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額 (24,374,587)

投資有価証券明細表

2022年8月31日現在の上場株式

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資 産比率 (%)
株式:				
AMBER ENTERPRISES INDIA LTD	169,326	6,189,601	4,809,961	0.73%
AXIS BANK LTD	2,956,188	24,269,844	27,867,436	4.23%
BAJAJ FINANCE LTD	117,374	8,687,708	10,757,278	1.63%
BHARTI AIRTEL LTD	3,122,528	25,519,734	28,460,185	4.32%
Brigade Enterprises Ltd	981,167	4,273,590	6,304,649	0.96%
Britannia Industries Ltd	182,480	8,094,920	8,578,708	1.30%
Can Fin Homes Ltd	756,656	6,190,519	6,016,182	0.91%
CIPLA LTD	892,674	8,758,708	11,628,253	1.77%
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	1,306,794	11,906,861	11,418,141	1.73%
Credit Access Gameen Limited	596,623	3,599,100	7,466,450	1.13%
CROMPTON GREAVES CONSUMER ELECTRICAL	2,206,531	9,375,975	11,276,311	1.71%
FORTIS HEALTHCARE LTD	2,813,939	6,081,671	10,388,215	1.58%
GAIL INDIA LTD	5,194,193	10,672,391	8,867,724	1.35%
GUJARAT PIPAVAV PORT LTD	4,539,491	8,778,823	4,954,073	0.75%
GUJARAT STATE PETRONET LTD	1,945,626	8,032,667	5,913,557	0.90%
HINDALCO INDUSTRIES LTD	3,089,920	17,401,607	17,015,618	2.59%
Hindustan Petroleum Corporation Ltd	1,534,307	4,562,794	4,687,447	0.71%
HINDUSTAN UNILEVER LTD	256,646	7,840,198	8,563,033	1.30%
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	780,181	14,922,187	23,941,911	3.64%
ICICI BANK LTD	5,679,294	29,578,431	63,212,187	9.61%
ICICI Lombard General Insurance	443,458	7,380,427	7,166,473	1.09%
INDUSIND BANK LTD	307,904	4,592,628	4,277,356	0.65%
INFOSYS LTD	3,245,477	37,191,008	60,779,871	9.24%
INOX LEISURE ORD SHS	639,976	3,030,227	4,056,878	0.62%
LARSEN & TOUBRO LTD	1,140,170	16,850,731	27,496,153	4.18%
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	1,333,096	13,860,630	21,884,544	3.33%
MARICO LTD	1,143,428	4,762,865	7,538,764	1.15%
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	76,127	7,258,288	8,672,976	1.32%
Max Financial Services Ltd	273,412	1,409,766	2,827,085	0.43%
PRESTIGE ESTATE PROJECTS	1,146,523	6,529,107	6,578,319	1.00%
PVR Ltd	262,035	4,212,371	6,015,149	0.91%
QUESS CORP LTD	742,854	7,936,471	5,331,033	0.81%

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
RELIANCE INDUSTRIES LTD	1,974,590	32,906,802	65,340,051	9.93%
SBI LIFE INSURANCE CO LTD	964,661	14,198,262	16,083,048	2.44%
SHRIRAM TRANSPORT FINANCE	625,359	9,237,917	10,626,555	1.61%
State Bank of India	3,450,842	20,071,228	22,996,408	3.49%
SUN PHARMACEUTICAL INDUS	1,297,520	10,675,511	14,535,361	2.21%
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	342,922	9,007,562	13,813,124	2.10%
TATA GLOBAL BEVERAGES LTD	1,037,748	7,441,895	10,539,626	1.60%
TATA MOTORS LTD	2,983,034	15,252,992	17,628,172	2.68%
TATA MOTORS LTD-A-DVR	920,918	2,553,442	2,704,899	0.41%
TATA STEEL LTD FV 1	9,226,910	8,208,148	12,534,895	1.89%
Tech Mahindra Ltd	259,931	3,453,910	3,508,704	0.53%
THE PHOENIX MILLS LIMITED	577,640	7,049,365	10,191,380	1.55%
		479,808,882	645,254,143	98.03%
その他資産			12,861,212	1.95%
純資産			658,115,355	99.99%

「イーストスプリング・インド株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/2/26 ～2023/2/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.221%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,672円です。
（投信会社）	(15)	(0.144)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.235	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2023年2月27日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	619,500	643,170	94.1	—	41.2	38.8	14.1	
合計	619,500	643,170	94.1	—	41.2	38.8	14.1	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第351回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	49,555	2028/06/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	59,000	58,107	2029/03/20
	第63回 利付国債（20年）	0.1	90,000	87,709	2030/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.8	50,000	50,298	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	45,937	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	20,875	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	39,858	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	58,660	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	135,000	145,686	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	77,500	86,479	2030/03/20	
合 計			619,500	643,170	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。